



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカラトミー

コード番号 7867 URL <http://www.takaratomy.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ハロルド・ジョージ・メイ

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員連結管理本部長 (氏名) 沓澤 浩也 TEL 03-5654-1548

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	87,975	14.7	6,572	153.4	6,419	297.4	4,226	605.3
29年3月期第2四半期	76,688	△1.4	2,593	209.2	1,615	127.4	599	129.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 4,537百万円 (－%) 29年3月期第2四半期 △3,432百万円 (－%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	45.08	44.55
29年3月期第2四半期	6.95	6.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	152,105	56,294	36.7	592.94
29年3月期	157,693	51,611	32.4	548.45

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 55,758百万円 29年3月期 51,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
30年3月期	—	7.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	177,000	5.6	11,500	48.5	11,500	47.0	7,000	30.3	74.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	96,290,850株	29年3月期	96,290,850株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	2,253,681株	29年3月期	3,186,873株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	93,740,635株	29年3月期2Q	86,166,624株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

今後の見通しにつきましては、5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(四半期連結損益計算書関係)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(2018年3月期第2四半期連結累計期間におけるハイライト)

- ・ 売上高は、国内及びアジア市場での玩具販売が好調に推移したことに加え、「トランスフォーマー」「ベイブレードバースト」の海外向け輸出が増加し87,975百万円となり、前年同期比14.7%の増収となりました。
- ・ 営業利益は、6,572百万円（前年同期比153.4%増）と大幅に伸長いたしました。売上高増加に伴う売上総利益の増加に加えて、海外ビジネスの収益性が改善したことによるものです。
- ・ 経常利益は、6,419百万円（前年同期比297.4%増）となりました。営業利益の大幅な伸長に加え、前期発生した営業外費用における為替差損の減少によるものです。
- ・ 米國小売企業における米国及びカナダでの各国破産法に基づく再生手続申請にともない、貸倒引当金繰入額385百万円を特別損失として計上いたしました。
- ・ 親会社株主に帰属する四半期純利益は、4,226百万円（前年同期比605.3%増）となりました。経常利益の大幅な増加によるものです。
- ・ 国内市場においては、今年50周年を迎えた「リカちゃん」や、テレビアニメ「トミカハイパーレスキュー ドライブヘッド」関連商品をはじめとした定番商品が好調に推移いたしました。また、「ベイブレードバースト」が引き続き人気を博すとともに、「うまれて！ウーモ」や「スナックワールド」をはじめとした話題商品の展開を積極的に行いました。
- ・ 海外市場においては、「ポケットモンスター」（以下「ポケモン」）の玩具が好評を得たものの、ベビー関連商品の販売は低調に推移いたしました。一方、前期に実施した一部商品の値引き販売が減少したことなどから、収益性が改善いたしました。

(経営成績の概況)
 <セグメント別業績の概況>

(単位：百万円)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減	増減率(%)
売上高	76,688	87,975	11,286	14.7
日本	61,065	73,799	12,734	20.9
アメリカズ	13,765	12,273	△1,491	△10.8
欧州	3,990	3,704	△285	△7.2
オセアニア	991	1,154	163	16.5
アジア	22,744	30,887	8,142	35.8
消去又は全社	△25,868	△33,845	△7,976	—
営業利益又は営業損失(△)	2,593	6,572	3,978	153.4
日本	3,600	6,642	3,041	84.5
アメリカズ	182	132	△49	△27.4
欧州	△311	△45	265	—
オセアニア	△59	25	85	—
アジア	383	806	423	110.3
消去又は全社	△1,202	△988	213	—

<日本>

(単位：百万円)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減
売上高	61,065	73,799	12,734
営業利益	3,600	6,642	3,041

国内市場では、定番商品において、今年50周年を迎える「リカちゃん」が、メディアで多数取り上げられたこともあり商品の販売が伸長するとともに、当社原作のテレビアニメ「トミカハイパーレスキュー ドライブヘッド」が人気となりました。

また、次世代ベーゴマ「ベイブレードバースト」やタマゴを孵化させ楽しむ新感覚ペット「うまれて！ウーモ」が引き続き好評を博すとともに、テレビアニメ・漫画・ゲームソフトなどでも展開している「スナックワールド」の関連商品に加え、風船アートが楽しめる手作りホビー玩具「ウーニーズ」など新商品を積極的に投入いたしました。

さらに、夏に映画が公開された「トランスフォーマー」や欧米でテレビアニメ放送を開始した「ベイブレードバースト」の海外向け輸出が大きく伸長いたしました。

㈱タカラトミーアーツにおいては、「ビッグストリーム そうめんスライダー エクストラジャンボ」などのクッキング玩具関連商品がメディアで多数露出され話題となりました。

以上のとおり、売上高は73,799百万円（前年同期比20.9%増）と大幅に増加いたしました。また、販売費及び一般管理費が増加したものの、売上高の伸長に伴う売上総利益の増加により、営業利益は6,642百万円（同84.5%増）と伸長いたしました。

<アメリカズ>

(単位：百万円)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減
売上高	13,765	12,273	△1,491
営業利益	182	132	△49

再建策の一環として“収益性改善を目的とした事業の集中と選択”を推進しているアメリカズにおいては、ベビー用品や農耕車両玩具など6つの主力ブランドへ経営資源を集中しております。「ポケモン」関連玩具や農耕車両玩具の販売が堅調に推移した一方、ベビー関連商品の販売が低調であったことなどから、売上高は12,273百万円（前年同期比10.8%減）となりました。なお、営業利益は132百万円（同27.4%減）と引き続き黒字化することができました。

<欧州>

(単位：百万円)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減
売上高	3,990	3,704	△285
営業損失(△)	△311	△45	265

欧州においては、「ポケモン」関連玩具の人气が継続しており、フィギュアやぬいぐるみを中心とした商品の販売が好調に推移いたしました。一方、ベビー関連商品の販売が減少したことなどにより、売上高は3,704百万円（前年同期比7.2%減）となりました。なお、前期に実施した一部商品の値引き販売の減少による売上総利益の増加により、営業損失は45百万円（前年同期営業損失311百万円）と改善させることができました。

<オセアニア>

(単位：百万円)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減
売上高	991	1,154	163
営業利益又は営業損失(△)	△59	25	85

「ポケモン」のぬいぐるみをはじめとした関連商品の販売が好調に推移したことなどにより、売上高が1,154百万円（前年同期比16.5%増）になるとともに、営業利益は25百万円（前年同期営業損失59百万円）と黒字化いたしました。

<アジア>

(単位：百万円)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減
売上高	22,744	30,887	8,142
営業利益	383	806	423

次世代バーゴマ「ベイブレードバースト」は、韓国、香港、台湾などにおいてテレビアニメを放送することに加え、店頭マーケティングを強化しており、販売が引き続き好調に推移するとともに、「ポケモン」関連玩具の販売が伸びました。また、2017年夏公開の映画「トランスフォーマー」関連玩具の出荷が増加したことで、売上高は30,887百万円（前年同期比35.8%増）、営業利益は806百万円（同110.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産、負債及び純資産の状況]

<資産>

流動資産は、前連結会計年度末に比較して5,315百万円減少し、97,575百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加した一方で、現金及び預金が減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比較して264百万円減少し、54,507百万円となりました。これは主として、投資その他の資産が増加した一方で、無形固定資産が減少したことによるものです。

<負債>

流動負債は、前連結会計年度末に比較して3,793百万円増加し、47,442百万円となりました。これは主として、未払金が減少した一方で、支払手形及び買掛金が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比較して14,064百万円減少し、48,367百万円となりました。これは主として、長期借入金が減少したことによるものです。

<純資産>

純資産は、前連結会計年度末に比較して4,683百万円増加し、56,294百万円となりました。これは主として、利益剰余金が増加したこと、及び自己株式の処分があったことによるものです。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前連結会計年度末に比較して18,935百万円減少し、39,594百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,857百万円の支出(前年同四半期は2,291百万円の収入)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益6,043百万円、減価償却費4,001百万円、仕入債務の増加3,249百万円等があった一方で、売上債権の増加9,070百万円、たな卸資産の増加3,391百万円、法人税等の支払額1,782百万円、未払金の減少642百万円等があったことによるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,045百万円の支出(前年同四半期は1,460百万円の支出)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出1,416百万円、無形固定資産の取得による支出569百万円等があったことによるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、14,108百万円の支出(前年同四半期は2,049百万円の支出)となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出14,085百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出1,505百万円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月10日に公表いたしました業績予想につきましては、修正を行っております。具体的な内容につきましては、平成29年10月27日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,623	39,691
受取手形及び売掛金	20,942	30,268
商品及び製品	13,982	17,651
仕掛品	328	330
原材料及び貯蔵品	1,286	1,278
繰延税金資産	1,931	1,727
その他	5,965	6,832
貸倒引当金	△168	△204
流動資産合計	102,891	97,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,381	13,576
減価償却累計額	△8,530	△8,641
減損損失累計額	△412	△409
建物及び構築物（純額）	4,437	4,525
機械装置及び運搬具	2,337	2,417
減価償却累計額	△1,605	△1,700
減損損失累計額	△17	△17
機械装置及び運搬具（純額）	714	699
工具、器具及び備品	21,982	22,894
減価償却累計額	△19,137	△20,232
減損損失累計額	△458	△484
工具、器具及び備品（純額）	2,387	2,177
土地	4,194	4,131
リース資産	7,762	7,424
減価償却累計額	△4,161	△3,194
減損損失累計額	△0	△0
リース資産（純額）	3,599	4,229
建設仮勘定	485	195
有形固定資産合計	15,819	15,958
無形固定資産		
のれん	20,468	19,836
その他	13,446	12,897
無形固定資産合計	33,915	32,734
投資その他の資産		
投資有価証券	2,584	2,851
繰延税金資産	207	258
その他	2,294	3,141
貸倒引当金	△49	△437
投資その他の資産合計	5,037	5,814
固定資産合計	54,772	54,507
繰延資産		
社債発行費	29	21
繰延資産合計	29	21
資産合計	157,693	152,105

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,477	13,266
短期借入金	7,099	7,947
1年内返済予定の長期借入金	4,408	4,415
リース債務	2,287	2,747
未払金	7,809	6,858
未払費用	8,881	8,568
未払法人税等	2,038	1,885
引当金	712	607
その他	934	1,145
流動負債合計	43,649	47,442
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	43,240	29,155
リース債務	950	1,381
繰延税金負債	2,293	2,381
再評価に係る繰延税金負債	472	472
役員退職慰労引当金	141	146
退職給付に係る負債	3,034	2,716
その他	2,300	2,113
固定負債合計	62,432	48,367
負債合計	106,082	95,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,459	3,459
資本剰余金	9,045	9,080
利益剰余金	29,264	33,025
自己株式	△2,073	△1,467
株主資本合計	39,696	44,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	735	926
繰延ヘッジ損益	1,133	1,200
土地再評価差額金	364	364
為替換算調整勘定	9,999	10,003
退職給付に係る調整累計額	△866	△832
その他の包括利益累計額合計	11,366	11,661
新株予約権	182	152
非支配株主持分	365	383
純資産合計	51,611	56,294
負債純資産合計	157,693	152,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	76,688	87,975
売上原価	48,103	52,711
売上総利益	28,584	35,263
販売費及び一般管理費	25,991	28,691
営業利益	2,593	6,572
営業外収益		
受取利息及び配当金	45	107
為替差益	—	18
受取賃貸料	77	76
その他	44	65
営業外収益合計	168	269
営業外費用		
支払利息	315	280
為替差損	663	—
その他	166	140
営業外費用合計	1,145	421
経常利益	1,615	6,419
特別利益		
固定資産売却益	11	18
新株予約権戻入益	55	8
偶発損失引当金戻入益	29	—
その他	3	—
特別利益合計	100	26
特別損失		
減損損失	562	16
貸倒引当金繰入額	—	385
その他	3	0
特別損失合計	565	403
税金等調整前四半期純利益	1,150	6,043
法人税等	534	1,798
四半期純利益	616	4,244
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	599	4,226

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	616	4,244
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△168	191
繰延ヘッジ損益	△557	66
為替換算調整勘定	△3,417	1
退職給付に係る調整額	94	33
その他の包括利益合計	△4,048	293
四半期包括利益	△3,432	4,537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,449	4,518
非支配株主に係る四半期包括利益	17	18

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,150	6,043
減価償却費	3,498	4,001
減損損失	562	16
のれん償却額	681	719
新株予約権戻入益	△55	△8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	408
偶発損失引当金の増減額 (△は減少)	△29	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1	5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△129	△281
受取利息及び受取配当金	△45	△107
支払利息	315	280
為替差損益 (△は益)	392	△334
有形固定資産売却損益 (△は益)	△10	△17
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,095	△9,070
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△611	△3,391
前払費用の増減額 (△は増加)	403	△338
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,513	3,249
未払金の増減額 (△は減少)	169	△642
未払費用の増減額 (△は減少)	375	△489
その他	562	△946
小計	3,647	△901
利息及び配当金の受取額	42	106
利息の支払額	△314	△279
特別退職金の支払額	△168	—
法人税等の支払額	△915	△1,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,291	△2,857
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,841	△1,416
無形固定資産の取得による支出	△632	△569
設備負担金による収入	812	—
その他	200	△58
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,460	△2,045
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,175	453
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,157	△14,085
配当金の支払額	△428	△465
セール・アンド・リースバックによる収入	1,625	905
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,423	△1,505
自己株式の処分による収入	513	594
その他	△2	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,049	△14,108
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,285	75
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,503	△18,935
現金及び現金同等物の期首残高	39,902	58,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,398	39,594

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結損益計算書関係)

減損損失

前第2四半期連結累計期間において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

用途	種類	場所	減損損失 (百万円)
事業用資産	工具、器具及び備品、リース資産、無形固定資産(その他)	東京都葛飾区	33
事業用資産	無形固定資産(その他)	豪州ビクトリア州ダンデノン市	510
事業用資産	投資その他の資産(その他)	香港カオロン地区	17

当社グループは、事業用資産については地域及び事業の関連性を基礎とした管理会計上の区分によるグルーピング、賃貸用資産、遊休資産については個々の物件をグルーピングの最小単位としております。

豪州の事業用資産については、一部のライセンス等について回収可能性が認められなくなったことにより、帳簿価額を回収可能価額まで減額し当該減少額を減損損失(510百万円)として特別損失に計上いたしました。なお、これらの資産グループの回収可能価額は使用価値により測定しておりますが、使用価値については、将来キャッシュ・フローが見込まれないことなどにより、零として評価しております。

その他、事業用資産については、継続的に営業損失を計上しており、かつ将来キャッシュ・フローの見積り総額が各資産の帳簿価額を下回ることなどにより、帳簿価額を回収可能価額まで減額し当該減少額を減損損失(51百万円)として特別損失に計上いたしました。なお、回収可能価額は正味売却価額または使用価値により測定しております。正味売却価額については、当該資産の廃棄を予定していることから零として評価しております。使用価値については、将来キャッシュ・フローが見込まれないことなどにより、零として評価しております。

当第2四半期連結累計期間においては、重要性が乏しいため記載を省略しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	アメリカズ	欧州	オセアニア	アジア	合計
売上高						
外部顧客への売上高	53,981	13,710	3,978	991	4,027	76,688
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,084	54	12	—	18,717	25,868
計	61,065	13,765	3,990	991	22,744	102,556
セグメント利益又は損失(△)	3,600	182	△311	△59	383	3,795

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,795
セグメント間取引消去	64
全社費用(注)	△1,266
四半期連結損益計算書の営業利益	2,593

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 地域に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米		その他	合計
			内 アメリカ		
売上高	48,887	16,035	14,932	11,765	76,688

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	アメリカズ	欧州	オセアニア	アジア	合計
売上高						
外部顧客への売上高	65,514	12,236	3,700	1,154	5,368	87,975
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,285	37	4	—	25,518	33,845
計	73,799	12,273	3,704	1,154	30,887	121,820
セグメント利益又は損失(△)	6,642	132	△45	25	806	7,560

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,560
セグメント間取引消去	378
全社費用(注)	△1,367
四半期連結損益計算書の営業利益	6,572

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 地域に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米		その他	合計
			内 アメリカ		
売上高	53,407	17,266	16,161	17,301	87,975

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。